

KFCと尚絅学院大がつくる名取のメディア

ハナモモ通信

2018年 3月



ハナモモちゃん

【発行】
河北新報普及センター
【協力】
尚絅学院大 河北仙阪
【エリア】名取市内
【部数】11,600部
【電話】022(266)2991

名取郡から名取市へ

昭和63年までであった名取郡

◎名取郡の発足

明治11年、現在の名取市、岩沼市、仙台市の一部を含む名取郡が発足されました。郡の役所は茂ヶ崎村(現在の長町)に置かれたそうです。明治22年の町村制の施行により次の町村が発足し名取郡は1町14村となりました。

- 1・増田村 (現名取市)
- 2・東多賀村 (現名取市)
- 3・下増田村 (現名取市)
- 4・館腰村 (現名取市)
- 5・愛島村 (現名取市)
- 6・高館村 (現名取市)
- 7・岩沼町 (現岩沼市)
- 8・玉浦村 (現岩沼市)
- 9・千貫村 (現岩沼市)
- 10・茂ヶ崎村 (現仙台市)
- 11・六郷村 (現仙台市)
- 12・中田村 (現仙台市)
- 13・西多賀村 (現仙台市)
- 14・生出村 (現仙台市)
- 15・秋保村 (現仙台市)

◎名取郡から名取市へ

明治29年、増田村が増田町となる。(2町13村)
大正4年、茂ヶ崎村が長町に改称。(3町12村)
昭和3年、長町が仙台市に編入され、東多賀村が閉上町に改称(3町11村)
昭和7年、西多賀村が仙台市に編入される。(3町10村)
昭和16年、六郷村、中田村が仙台市に編入。(3町8村)

昭和30年、増田町、閉上町、下増田村、館腰村、愛島村、高館村、が合併し名取町となり、現在の名取市が形成される。岩沼町、玉浦村、千貫村が合併し岩沼町となる。(2町2村)

昭和31年、生出村が仙台市に編入される。(2町1村)
昭和33年、名取町が名取市となり郡より離脱し名取市が誕生。(1町1村)

昭和42年、秋保村が秋保町となる。
昭和46年、岩沼町が岩沼市となる。
昭和63年、秋保町が仙台市に編入され名取郡は消滅しました。



子どもとロボット仲良く 尚絅学院大で未来応援教室

河北新報社が企画している東日本大震災の復興支援事業「今できることプロジェクト」の一環として、子どもたちに夢を育んでもらおうと「こども未来応援教室」が、3月4日に名取市の尚絅学院大で開催され、県内の小中学生約240人が参加しました。

参加者は午前・午後と1コマずつの授業を受けることが条件であり、午前の部ではプロジェクトの賛同企業であるソフトバンク、大和証券、アサヒグループホールディングス、日本製紙の4社が独自に企画した社会科学習に参加しました。

午後の部では、楽天イーグルスで活躍され、現在は楽天イーグルスジュニアコーチの永井怜さんやシンガーソングライターの伊東洋平さんらを講師に招いた職業体験講座を受講しました。

午前の部で、講座を開催したソフトバンクは「peer of the programming classroom」と称した、自社ロボットの仕組みやプログラミングの基礎を教える授業を実施し、多くの子供達が参加していました。

栗原市から参加した長谷川快晴君(11)は「普段学校では習えないことを教

てもらえて良かった」と話していました。



市制施行60周年記念
ロゴマークです



めぐってみれば、つながりナトリ
名取市市制施行60周年

名取市では、平成30年10月1日に市制施行60周年を迎えるにあたり、「めぐってみれば、つながりナトリ」をキャッチフレーズとして、市内各所で様々なイベントを開催しています。

名取産食べ隊

ハナモモ記者が行く Pasta & Cafe ROSSO

ロソプレート 大満足

名取市ゆりが丘にある「Pasta & Cafe ROSSO」をご存知でしょうか？

ROSSO は、今年で開業20年目を迎えるオシャレな外観が特長のお店で、オーナーの佐藤さち子さんが作る美味しい料理が、お客様から高い評価を得ている人気店です。

店には多くのメニューがありますが、その中でも人気のメニューが「ロソプレートセット(1380円)」です。ロソプレートとは、単品でも人気のオリジナルパスタとスパムステーキが乗ったトマトライスが豪快に盛り付けられたプレートで、サラダとソフトドリンクまで付いてくるというお得感たっぷりのメニューです。私も実際に食べさせてもらいましたが、パスタとトマトライスという主役級の料理を同時に味わうことができ、大満足でした。

また、ROSSO ではパスタやご飯を大盛り出来るサービスも提供しており、特に通常の3倍の量を注文できる「メガ盛り(+600円)」は、ガッツリと食べたい方には大変お得なメニューとなっています。さらにメガ盛りを完食した方だけに「ROSSO オリジナルステッカー」を差し上げているとのことですので、気になる方はぜひ挑戦してみてくださいと思います。

料理ばかりが目立ちなROSSOですが、店舗の横にはクルマ好きな佐藤さんご主人が管理しているガレージがあることから(週末などに開放しているとのこと)、県内外のクルマ好きが集まる店という一面や夜は雰囲気の良いBARとして営業している点、店内は様々な雑貨や展示品で装飾されているなど、ここでは書ききれないくらい多くの魅力があることが印象的でした。

ROSSO では、今回ご紹介した料理以外にも季節の食材を使ったメニューや手作りスイーツなども提供しています。ぜひ、皆さんも店に足を運んでいただき、美味しい料理と雰囲気の良い店を感じてください。



Pasta & Cafe ROSSO

営業：【平日】18時～22時半まで(水・木・金曜日は12時～15時までのランチ営業あり)
 【土曜日】12時～22時半まで(ランチあり)

住所：宮城県名取市ゆりが丘1-18-19 定休日：日曜日・祝日



館腰親水公園のはなもものつぼみ

美しい里を作りましたよう 館腰地区ではなももも植栽

館腰地区コミュニティ運営協議会は「はなももの里づくり事業」の一環として、はなももの苗の植栽や、植栽後のお世話、消毒などを行ってまいります。

活動の内容は館腰(飯野坂・植松・本郷・堀内の4地区)の公園や希望者宅の庭に毎年20本(各地区5本)のはなももの苗を植えて館腰を、はなももの咲きみだれる里にするというものです。

館腰地区とはなもものつぼみは古く、約350年前の寛文事件(伊達騒動)までさかのぼります。騒動の結果「樅の木は残った」で有名な、伊達家奉行で船岡城主の原田甲斐は死亡、原田家は断絶となりました。

原田家の家臣の中の37名は当時の名取の里、飯野坂村と植松村に移り帰農したといわれます。その家臣たちが主君の冥福を祈るために、軒毎に桃の木をうえたのが始まりと言われているそうです(中国からの伝説では桃の木は人の霊を慰めるといふ霊木として伝えられる)。

会長の相原繁雄さん(79)は「『きれいな花には虫がつく』と言うが、まさにその通りで半年に一度の消毒作業は欠かせない、経費は掛かるが先輩がたが受け継いで来たものを次世代へ継いで行きたい」と話してくれました。

活動に参加した桑嶋徹さん(60)によると「幾度か途切れたと思うが、戦後に館腰出身で閑上中学校初代校長の菅井二郎氏が中心と

なって復活させ約70年も続いている活動なんです」と思いを語ってくれました。



はなももの状態を見て回るメンバーたち

3月号 フレンチ企画

皆さんからのご意見、ご感想をお待ちしております。プレゼント企画として「東北楽天・河北新報コラボオリジナルタオル」を3名へプレゼント！住所、氏名、年齢、電話番号、ハナモモ通信を読んだ感想、要望などを記入してメールがファクス、または郵送で左記まで。
 4月1日締切。
 【住所】〒980-0022 仙台市青葉区五橋1の1の10
 【FAX】227-8333
 「KFCハナモモ通信プレゼント」係。

メール：hanamomo-kfc@kahoku-fc.co.jp